

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	戦没者追悼式関係事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加	所属課	福祉課	担当者名	狩野紀彦
	基本事業	47	高齢者支援体制の充実	所属班	社会福祉班	(内線)	2136
				法令根拠	合志市契約事務規則		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	3	1	1	10429			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (		~	年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
①先の数々の大戦等で戦死した戦没者に対し、慰霊祭を行う際の祭壇設営委託料。平成20年度より追悼式と名称を変更する。  
【業務の流れ】  
追悼式  
①葬儀社に対し、追悼式祭壇の設営委託料に関する見積書を徴す②開けし、最低価格見積業者と契約を交わす③会場設営及び撤収(祭壇意外の部分)  
【主な予算費目】  
委託料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・合志市総合センターヴィーブルで慰霊祭を実施し、祭壇の設営委託料を支払った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・合志市御代志市民センターで開催予定。委託契約は20年度同様。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・慰霊祭祭壇の設営委託料を支払った。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 追悼式出席者数 人 イ 遺族会との追悼式打ち合わせ回数 H
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ①戦没者遺族 ②合志市遺族会	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 遺族会員数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ①戦争で犠牲になった方への慰霊を行う。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 追悼式へ遺族会の参加率 % イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 追悼式等として広報誌に掲載した平和を訴えた記事 件 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0          0  0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	380	105	105	105	300	300	
	(A) 事業費計	千円	380	105	105	105	300	300	300	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	2	3	3	3	3	3	3		
延べ業務時間	時間	56	56	60	60	60	60	60		
(B)人件費計	千円	222	223	239	239	239	239	239		
トータルコスト(A)+(B)	千円	602	328	344	344	539	539	539		

指標	単位	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	20年度 実績	21年度 目標	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
活動指標	人	250	250	250	250	250	250	250	目 標 合 計 数 計 値 画  22 年 度
	H	4	4	4	4	4	4	4	
対象指標	人	200	200	200	200	200	200	200	
	人								
成果指標	%	60	60	60	60	60	60	60	
	%								
上位成果指標	件	2	2	2	2	3	3	3	
	件								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
・国の命により出征し命を落とした戦没者の魂を慰めるために慰霊祭を始めた。平成20年度より名称を追悼式とした。  
・遺族間の情報交換や援護政策の周知徹底を行い遺族の福祉の増進を目指し遺族会が結成された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
・遺族も高齢化が進み、慰霊祭に参加することが困難な人たちが増えてきた。  
・戦没者の子、孫と世代が代わるにつれ、戦争の悲しさや悲惨さを語り継ぐものが減ってきており、戦争は過去のものという考えも出てきている。  
・旧合志町、旧西合志町で慰霊祭の開催時期・開催方法等が異なっていた。18年度においては5月に総合センターヴィーブルで開催。19年度は御代志市民センターで開催。20年度は総合センターヴィーブルで開催。平成21年度以降は参加者の高齢化等に鑑み御代志市民センターで固定して開催予定。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
・戦争によって失った家族や友人は帰ってこない。この辛い出来事を後世に伝えたい。

事務事業名	戦没者追悼式関係事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度的事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ ・戦争を繰り返してはいけないという意思の統一ができ、平和の尊さを訴えることができる。 ・遺族会の活動を支援することにより、遺族間の交流が活発になり、ひいては平和の尊さを再度確認することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ・戦死した者、また残された遺族には何の責任も無い。市として戦没者への慰霊を表することは必要であることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ①出席率：旧合志・西合志で会場を交互に開催していたが固定化することで、参加者の安全性を確保する。②福祉の向上は図れている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 追悼式への参加も遺族会が取りまとめをしており、その活動が低迷し追悼式の開催が危ぶまれ、市民の不戦の誓いの啓発が十分ではなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似する事業がない。遺族も高齢化してきており、県主催の追悼式等には出向けない人が多い。また、県主催の場合、参加人数が制限される恐れがある <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 対象者も高齢化しており、遺族会のみでの追悼式の開催は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 早めに遺族会との協議を行うことにより、追悼式自体の円滑な実施が行われる。遺族会が活動しやすい方策をとる事により削減が図られた。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 戦没者に弔慰、慰藉を示すことは、市民の不戦の誓いにもつながり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 遺族会との早めの協議を行うことにより、慰霊祭への参加者へはバスの送迎等の周知を図り、より多くの参加者を募る。また、開催日頃の早めの周知を行う。 ①目的妥当性については、追悼式と名称を21年度から変えることにより市民の参加が図れる。 ②有効性については、会場を固定化することで、円滑な運営が可能となる
---	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・高齢化が進んでいる会に対して、懇切な対応が必要である。市バスの利用促進を図る。 ・開催場所により祭壇の委託業務内容が異なるが、遺族会の意向も聞きながら、業務委託を図っていく。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・高齢化が進む団体への支援の内容と方法。遺族の高齢化は避けられず、市のバスの活用が望まれる。  
 ・開催時期、開催場所、開催方法等について遺族会と早めに協議を行うことで、追悼式の円滑な実施を図る。平成21年度については5月15日(金)開催で協議済。市長・議会への調整済。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )